

2 令和 2 年主要災害種類別被害概況

(1) 令和2年7月豪雨による農作物被害

令和2年7月豪雨により冠水等が発生し、被害面積は1万1,500ha、被害見込金額は47億9,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、ねぎ等の野菜が20億円（被害総額の42%）と最も大きく、次いで水稲が16億円（同33%）、もも等の果樹が5億6,300万円（同12%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、福岡県が17億6,000万円（被害総額の37%）と最も大きく、次いで山形県が11億8,000万円（同25%）、熊本県が10億5,000万円（同22%）となった。

（参考）気象概況

活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となった。東・西日本の月降水量はかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側の月降水量はそれぞれ平年比245%、222%、240%となり、7月として1946年の統計開始以来第1位の多雨となった。

表1-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構成比	主 な 被 害 地 域
	30%以上					
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	11,500	2,840	17,500 1,970 千本 135 千鉢	4,790	100	福岡、山形、熊本
水 陸 稲	8,350	1,630	7,450	1,600	33	熊本、福岡、山形
か ん し ょ	12	0	53	2	0	
雑 穀 ・ 豆 類	985	248	334	41	1	
野 菜	982	421	5,610	2,000	42	福岡、山形、熊本
果 樹	528	91	1,660	563	12	山形、福岡、和歌山
工 芸 農 作 物	184	102	220	360	8	熊本
飼 肥 料 作 物	447	340	2,180	31	1	
そ の 他 農 作 物	20	11	1,970 千本 135 千鉢	195	4	

- 注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。
- 2 その他農作物は、切り花、種苗・苗木類等である（以下の各表において同じ。）。
- 3 被害量の単位はtである。なお、切り花及び種苗・苗木類は千本、鉢物類は千鉢である（以下の各表において同じ。）。
- 4 構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下の各表において同じ。）。

(2) 台風第9号及び第10号による農作物被害

台風第9号及び第10号により、潮風害、倒伏等が発生し、被害面積は4万8,400ha、被害見込金額は31億3,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、れんこん等の野菜が10億9,000万円（被害総額の35%）と最も大きく、次いで水稲が7億7,100万円（同25%）、さとうきび等の工芸農作物が7億3,200万円（同23%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、佐賀県が7億5,000万円（被害総額の24%）と最も大きく、次いで長崎県が6億7,100万円（同21%）、鹿児島県が4億7,600万円（同15%）となった。

（参考）気象概況

9月上旬に台風第9号と第10号が相次いで沖縄・奄美を通過し東シナ海を北上した。6日には西米良（宮崎県）で日降水量が364.5mm、7日には野母崎（長崎県）で日最大瞬間風速が59.4m/sと、ともに観測史上1位の値を更新するなど、西日本や沖縄・奄美を中心に大雨や大荒れとなった所があった。

表2-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構成比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上				
総 数	48,400	916	40,300 483 千本	3,130	100	佐賀、長崎、鹿児島
水 陸 稲	20,000	358	3,610	771	25	佐賀、福岡、長崎
か ん し ょ	342	-	270	15	0	
雑 穀 ・ 豆 類	1,340	190	226	34	1	
野 菜	1,730	133	4,470	1,090	35	長崎、佐賀、鹿児島
果 樹	3,450	162	1,600	459	15	長崎、熊本、福岡、佐賀
工 芸 農 作 物	21,400	71	29,900	732	23	沖縄、鹿児島
飼 肥 料 作 物	114	-	217	1	0	
そ の 他 農 作 物	9	2	483 千本	30	1	